

都市計画道路 豊中岸部線 (岸部北工区)

道路構造に関する説明会
五月が丘～名神高速～市道岸部北57号線

令和7年7月26日（土）
令和7年7月31日（木）

茨木土木事務所

豊中岸部線 地元説明会(予定)

R7.7.31時点

(第1回) 令和7年7月26、31日

佐井寺中学校～市道岸部北57号線までの道路構造

(名神高速との交差、博物館の接道、公園の縁と道路構造等)

(第2回) 令和7年8月末頃 (日時調整中)

市道岸部北57号線～府道大阪高槻京都線までの接道交差等 (交差点、取付接道等について)

(第3回) 令和8年2月以降

用地測量（境界確定） 説明会

(用地境界確定スケジュール、用地取得に関する事項等)

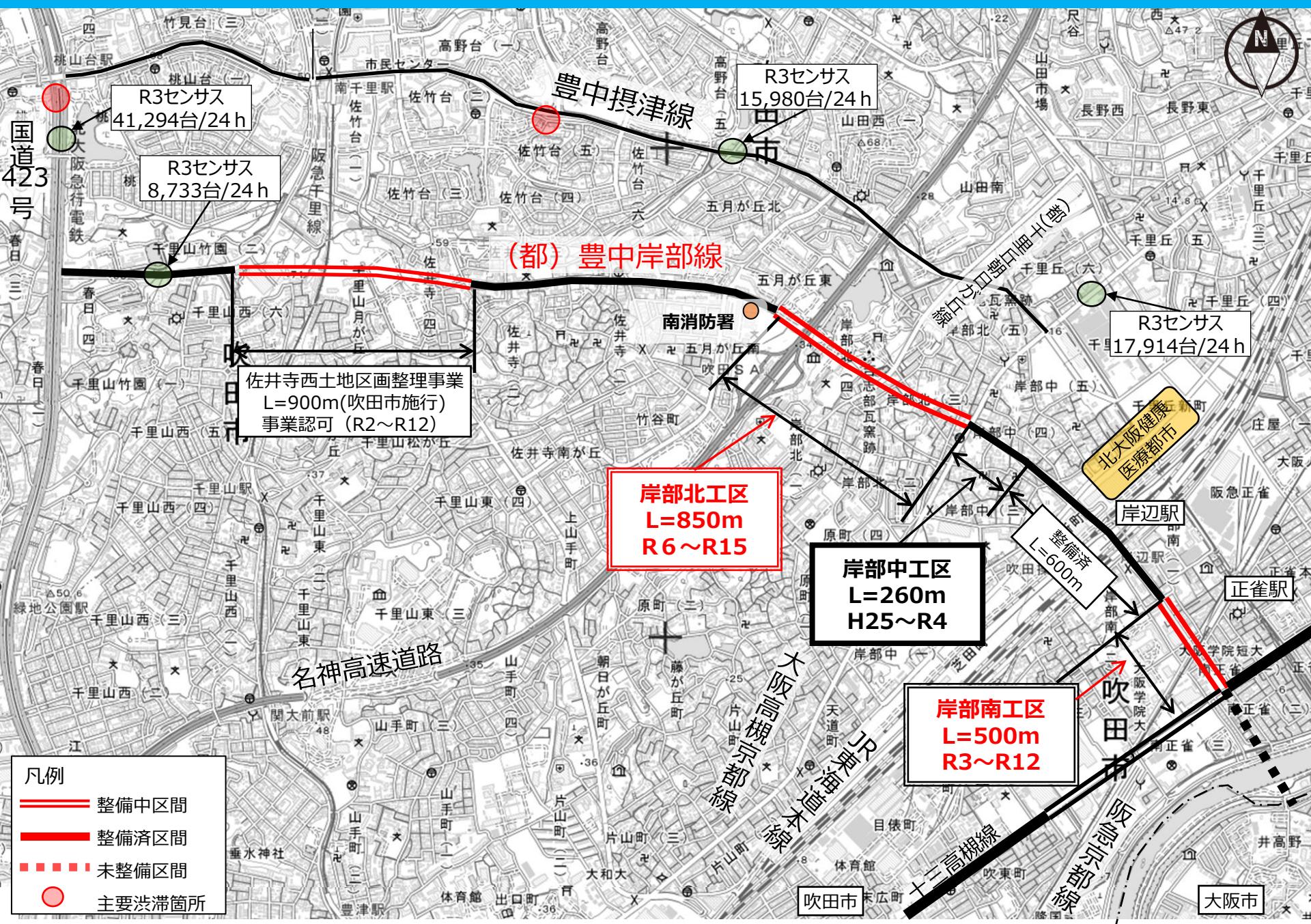
※その他、必要となった場合には随時開催をいたします。

【説明区間（予定）】



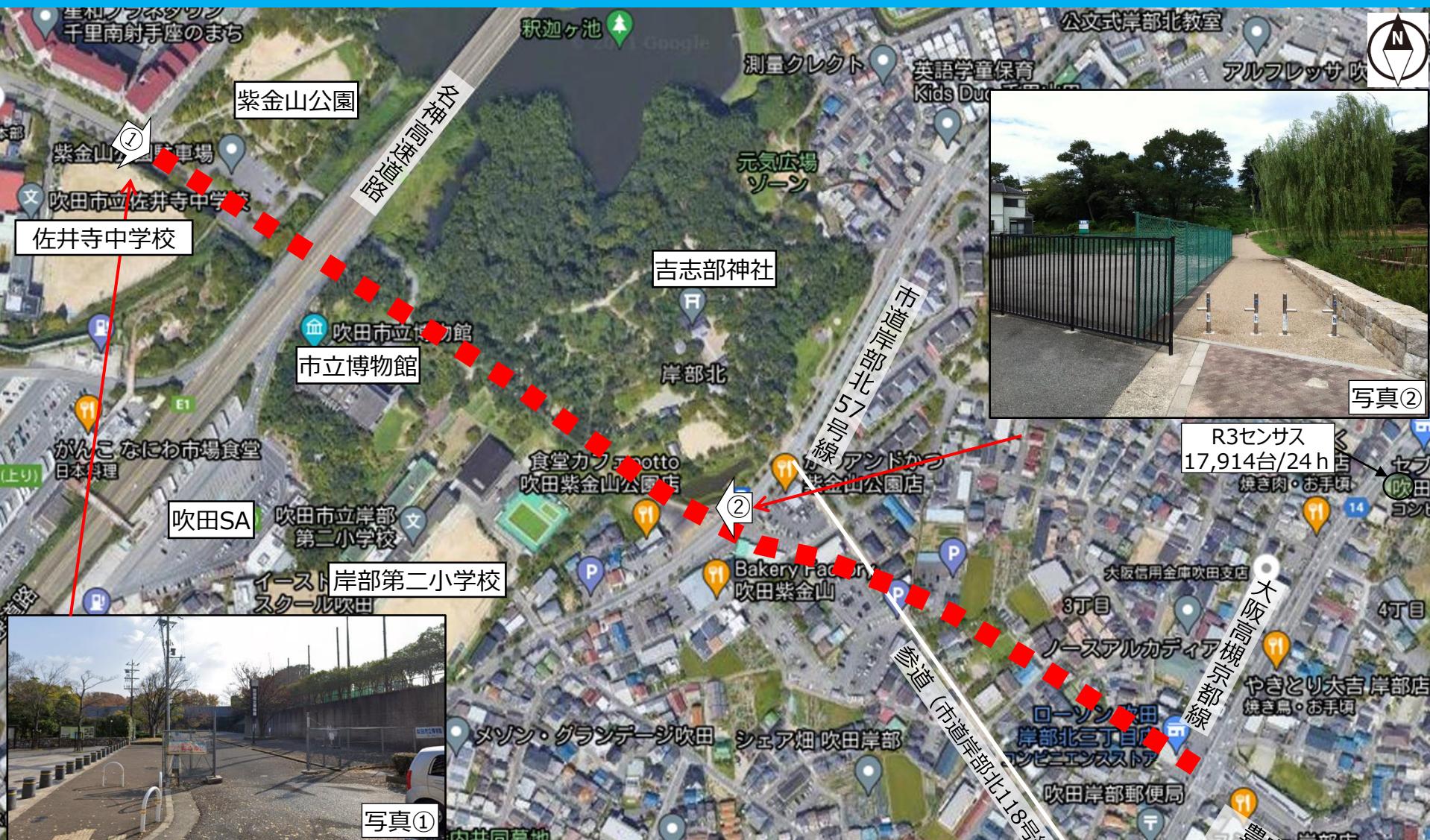
全体計画

R7.7.31時点



岸部北工区の状況

R7.7.31時点



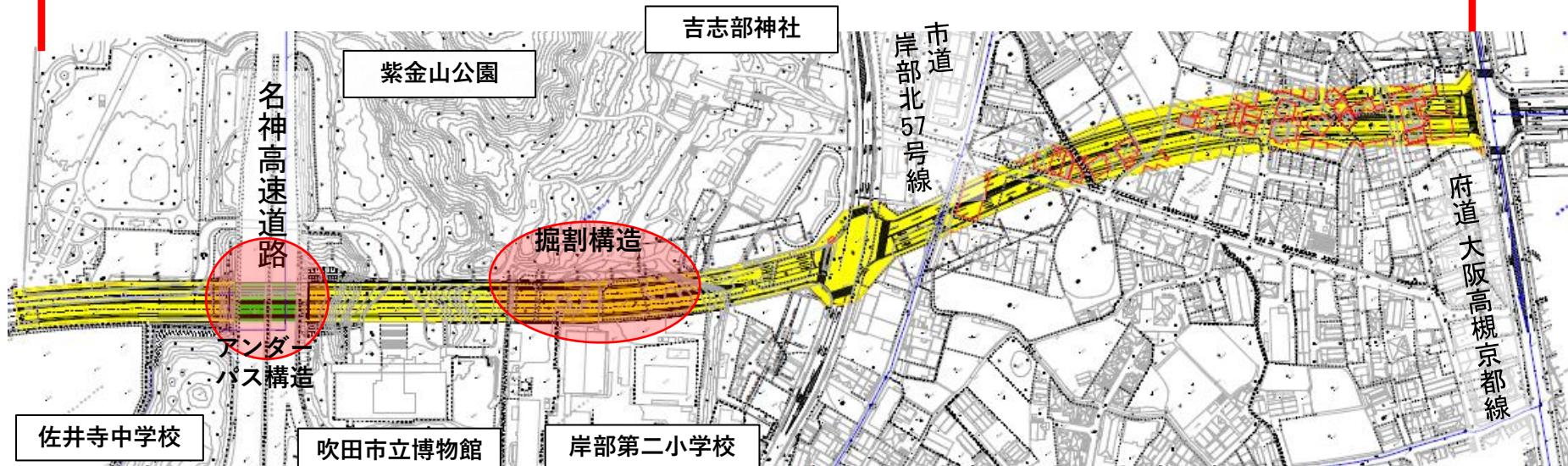
事業概要 : L=約850m、W=22~34m

事業区間：佐井寺東土地区画整理～大阪高槻京都線

交通量：2.5万台／日

中期計画着手

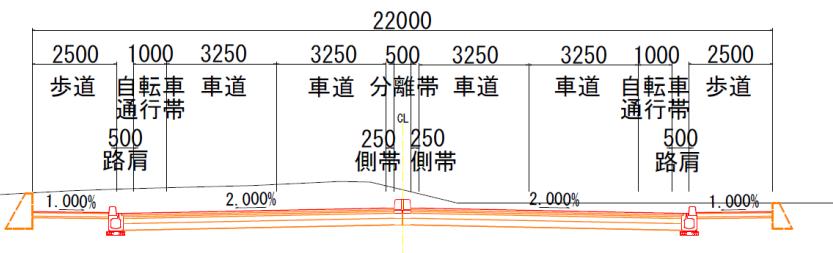
事業区間 $L = 849m$ $W = 22.0m \sim 34.0m$



■計画横断図（一般部）

$W = 22.0m$ 区間 (单路部)

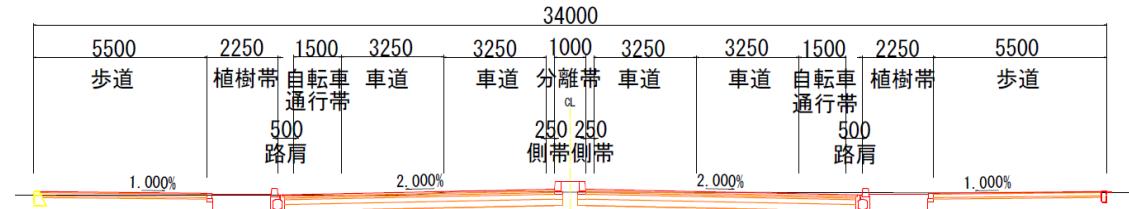
NO. 13+00.000付近



■計画横断図（岸部中交差点側）

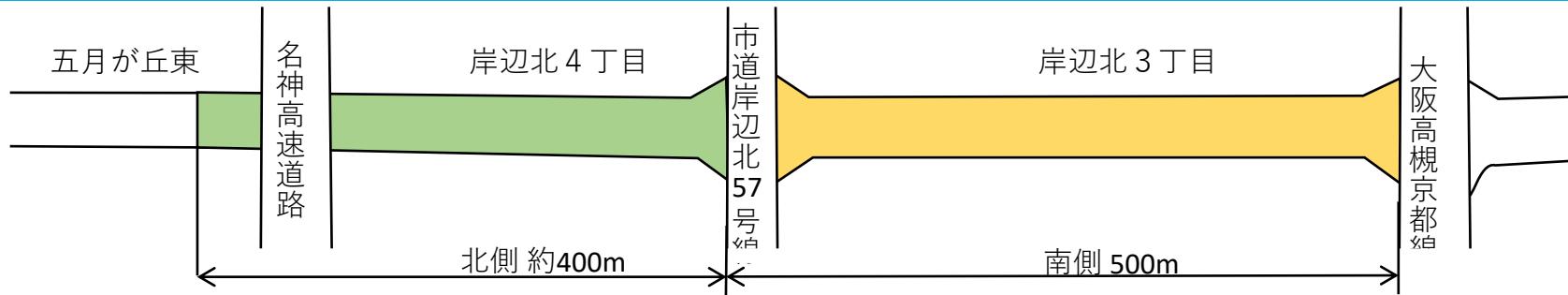
$W = 34.0m$ 区間 (单路部)

NO. 36+00.000付近



事業計画スケジュール（案）

R7.7.31時点



	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
事業期間（10年）										
路線測量										
土質調査										
予備設計										
詳細設計										
文化財調査										
本体工事										
用地測量										
境界確定										
物件調査										
交渉、取得										
本体工事										

Key milestones and events marked on the timeline:

- R6.3.18 事業認可取得 (Yellow star)
- R7.1.1 道路構造説明会 (Meeting point for R7)
- R7.1.1 (道路予備B) (Start of Preliminary Design B for Road)
- R7.1.1 (電共予備B) (Start of Preliminary Design B for Power/Electricity)
- R7.1.1 (構造物詳細 + 道路詳細 + 電共詳細) (Detailed design of structures, roads, and power/electricity)
- R7.1.1 工事説明会 (Meeting point for R7)
- R7.1.1 (掘削土留12月 + 調査土工12月 + 名神下函渠工36月 + 地下埋設工6ヶ月 + 道路築造12月 + α) (Duration of main construction work)
- R7.1.1 用地測量説明会 (Meeting point for R7)
- R7.1.1 (電線共同溝 + 道路築造工) (Duration of main construction work)

道路設計について（五月が丘～岸辺北57号線）

R7.7.31時点



道路設計の条件

R7.7.31時点

道路法第30条第1項、第2項の規定に基づき定められた「**道路構造令**」により設計を行う

道路規格	第4種 第1級
設計速度	60 km/h
将来交通量	25,100台/日（令和22年予測）

第3条 道路は、次の表に定めるところにより、第1種から第4種までに区分するものとする。

道路の存する地域 高速自動車国道及び 自動車専用道路又はその他の 道路の別	地方部	都市部
高速自動車国道及び 自動車専用道路	第1種	第2種
その他の道路	第3種	第4種

計画交通量 (単位1日につき台)	10,000 以上	4,000 以上 10,000 未満	500 以上 4,000 未満	500 未満
一般国道	第1級		第2級	
都道府県道	第1級	第2級		第3級
市町村道	第1級	第2級	第3級	第4級

第13条 道路（副道を除く。）の設計速度は、道路の区分に応じ、次の表の設計速度の欄の左欄に掲げる値とする。ただし、地形の状況その他の特別の理由によりやむを得ない場合は、高速自動車国道である第1種第4級の道路を除き、同表の設計速度の欄の右欄に掲げる値とすることができる。

区分	設計速度(単位1時間につきキロメートル)		
第1種	第1級	120	100
	第2級	100	80
	第3級	80	60
	第4級	60	50
第2種	第1級	80	60
	第2級	60	50又は40
第3種	第1級	80	60
	第2級	60	50又は40
	第3級	60, 50又は40	30
	第4級	50, 40又は30	20
	第5級	40, 30又は20	
第4種	第1級	60	50又は40
	第2級	60, 50又は40	30
	第3級	50, 40又は30	20

2 副道の設計速度は、1時間につき、40キロメートル、30キロメートル又は20キロメートルとする。

道路設計の条件

R7.7.31時点

道路法第30条第1項、第2項の規定に基づき定められた「道路構造令」により設計を行う

縦断線形 最急縦断勾配 5 %

縦断勾配とは道路の進行方向における**坂の傾き**を表すもの。

縦断勾配が道路に与える影響

①車両の走行安全性

急な下り坂ではブレーキ性能が重要、上り坂では速度低下が懸念される

②走行性・快適性

急勾配だと燃費悪化、騒音増加、走行ストレス増加

③排水性

勾配が適切だと水はけが良く、逆にフラットすぎる
と排水不良になる

④建設コスト

地形により切土盛土、構造物が必要となり建設コストに影響する

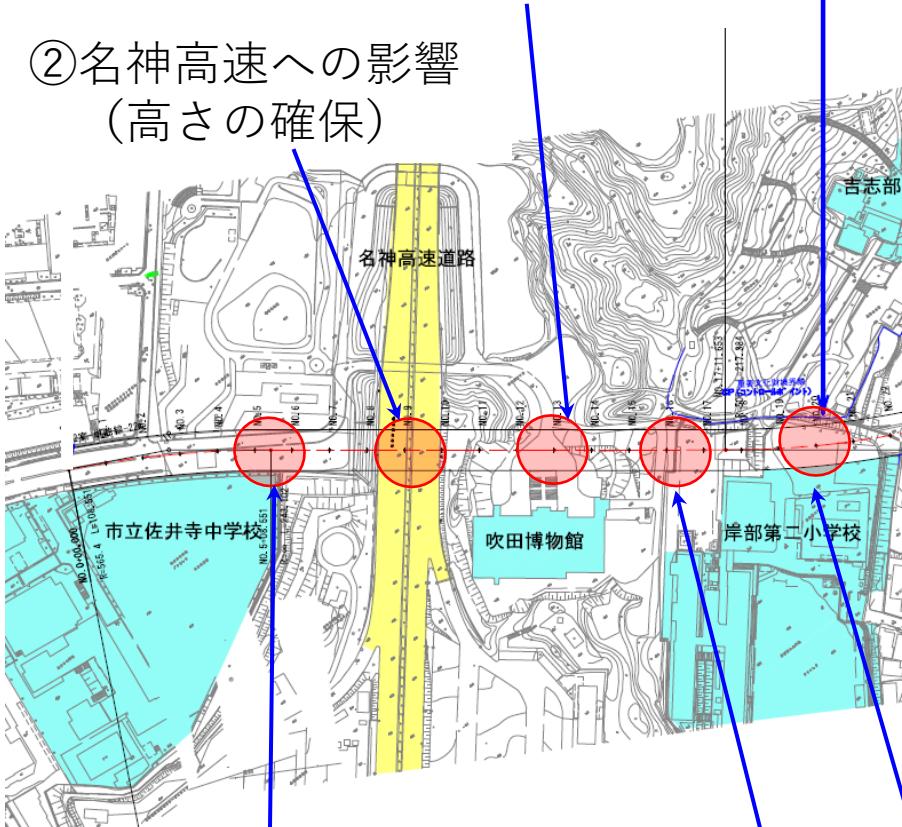
道路規格 第4種 第1級		設計速度 V = 60 km/h		設計車両：普通自動車、セミトレーラー連結車									
項 目	単 位	基準値			その他の基準	採用値	摘要 (道路構造令 参照頁)						
		望ましい値	標準値	特例値									
平面線形	最小曲線半径	m	200	150	120	—	500 P341, P349						
	緩和曲線省略半径	m	—	1000	—	—	— P396						
	片勾配打切り半径	m	—	2000	—	—	2000 P360						
	最小曲線長	$\theta \geq 7^\circ$	m	—	100	—	217 P354						
		$\theta < 7^\circ$	m	—	$700/\theta$	100	— P354						
	緩和曲線	最小ペラーダー	m	—	90	—	省略 P392						
		最小緩和曲線長	m	—	50	—	省略 P384						
縦断線形	最急 縦断勾配	一般値	%	—	5	8	— 5 P426						
		特例値 i = 6 %	m	—	—	500	— P434						
		i = 7 %	m	—	—	400	— P434						
		i = 8 %	m	—	—	300	— P434						
	最小縦断曲線半径	凸型	m	2000	1400	—	4070 P452, P464						
		凹型	m	1500	1000	—	3850 P452, P464						
最小縦断曲線長		m	—	50	—	—	125 P463						
標準横断勾配		%	—	2.0	—	—	2.0 P467 (片側2車)						
片勾配の最急すりつけ率		—	—	1/125	—	—	省略 P398						
最急合成勾配	一般地	%	—	10.5	—	—	10.5 P470						
視 距		m	—	75	—	—	省略 P413						
曲線部の片勾配													
曲線半径	以上	m	120 ↓ 未満	150 ↓ 150	190 ↓ 190	230 ↓ 230	270 ↓ 270	330 ↓ 330	420 ↓ 420	560 ↓ 560	800 ↓ 800	2000 ↓ 2000	
	片勾配の値	標準値	%	10	9	8	7	6	5	4	3	2	P362
曲線部の拡幅 (1車線当り)													
曲線半径	以上	m	150 ↓ 未満	100 ↓ 280	70 ↓ 150	50 ↓ 100	— ↓ 70	— ↓ —	— ↓ —	— ↓ —	— ↓ —		
	拡幅量	1車線当たり	m	0.25	0.50	0.75	1.00	1.25	1.50	1.75	2.00	2.25	P374

重要ななる高さ条件

R7.7.31時点

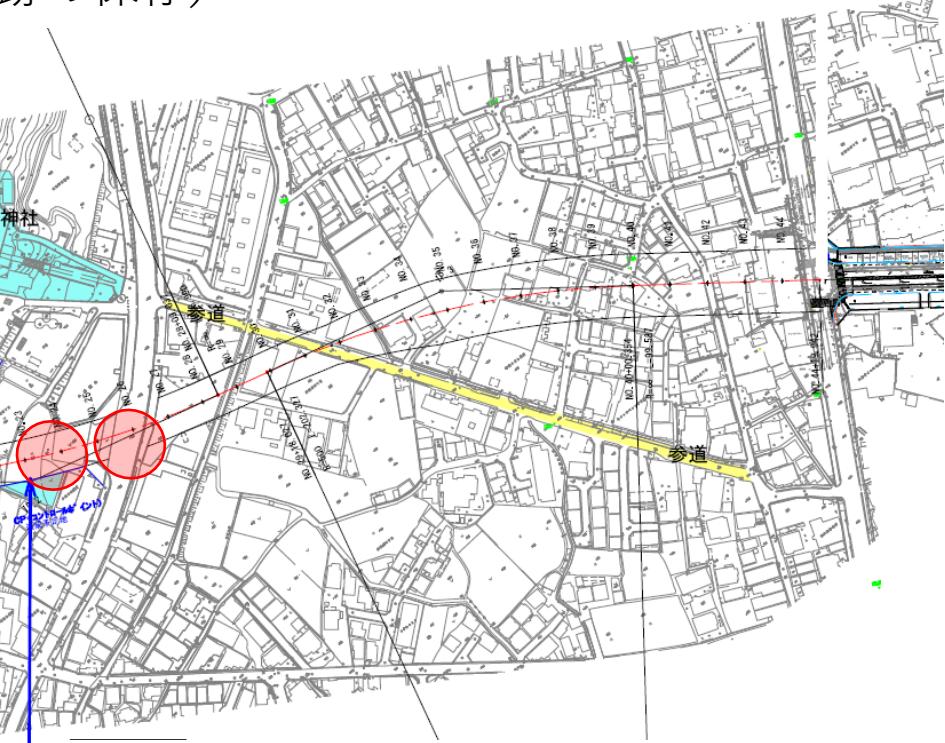
③博物館の接道
(取付高さの調整)

②名神高速への影響
(高さの確保)



①佐井寺中学校への影響
(教育環境の保全)

④国指定史跡への影響
(史跡の保存)



⑦道路及び住宅地との接道
(取付高さの調整)

⑤小学校への影響
(教育環境の保全)

⑥公園接続道路の整備

条件①佐井寺中学校への影響（擁壁高さ）

R7.7.31時点

佐井寺中学校の擁壁に影響を与えないように、**道路計画高さ**は**現況高さ**とする。

道路計画高さを下げる、擁壁の再建設が必要となり中学校のグランドに大きく影響を及ぼし、学習環境に影響する

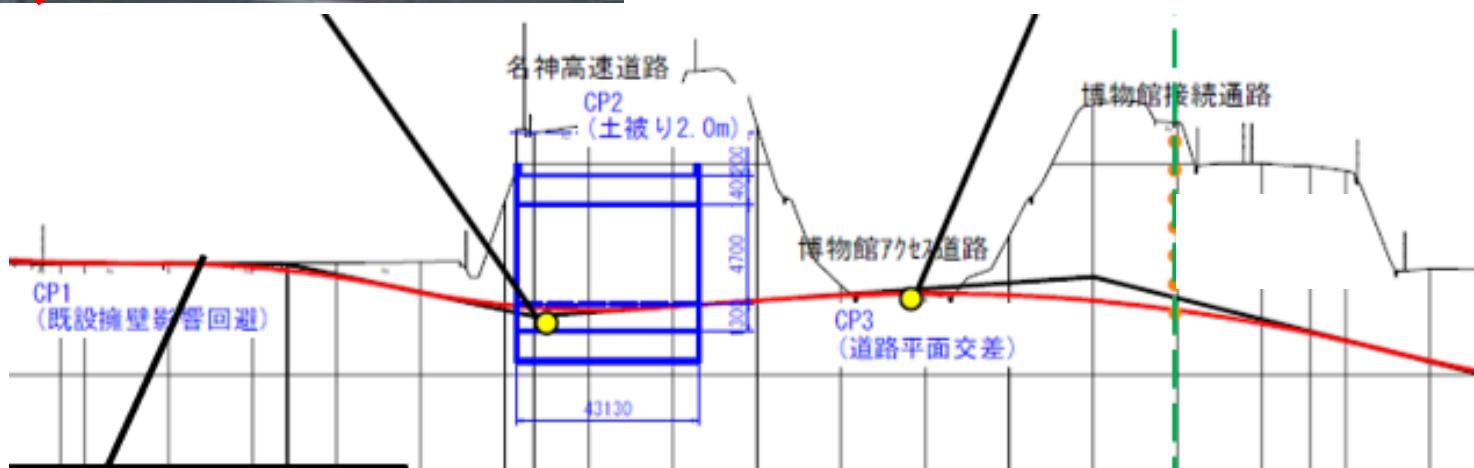
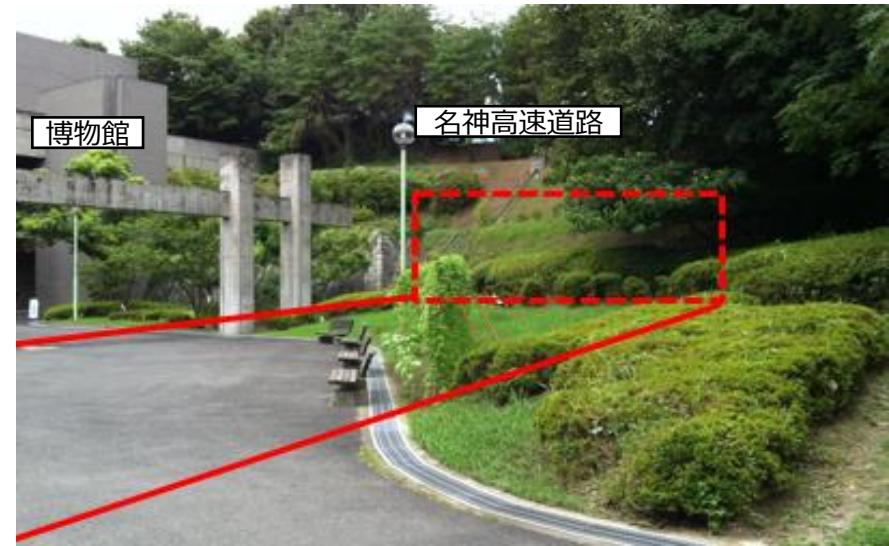
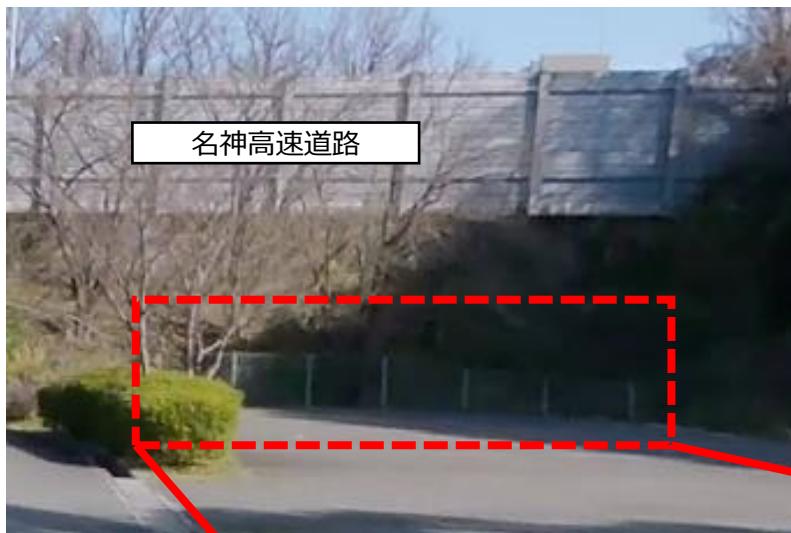


条件②名神高速道路交差（アンダー）

R7.7.31時点

NEXCOからの条件として高速道路に影響を与えないよう

- ①高速道路高さから2.0m以上の離隔が必要
 - ②勾配の最深部（サゲ部）を名神下になるべく作らない
 - ③工事中における変位（高速施設のズレき）の基準順守
 - ④地震時にも耐えられる基準で設計すること



条件③吹田市博物館の接道（取付高さ）

R7.7.31時点

吹田市博物館利用者の利便性、アクセス性向上のため、**道路計画高さは現況高さ**とする。

出来るだけ、博物館の改築工事等の必要がないように設計する



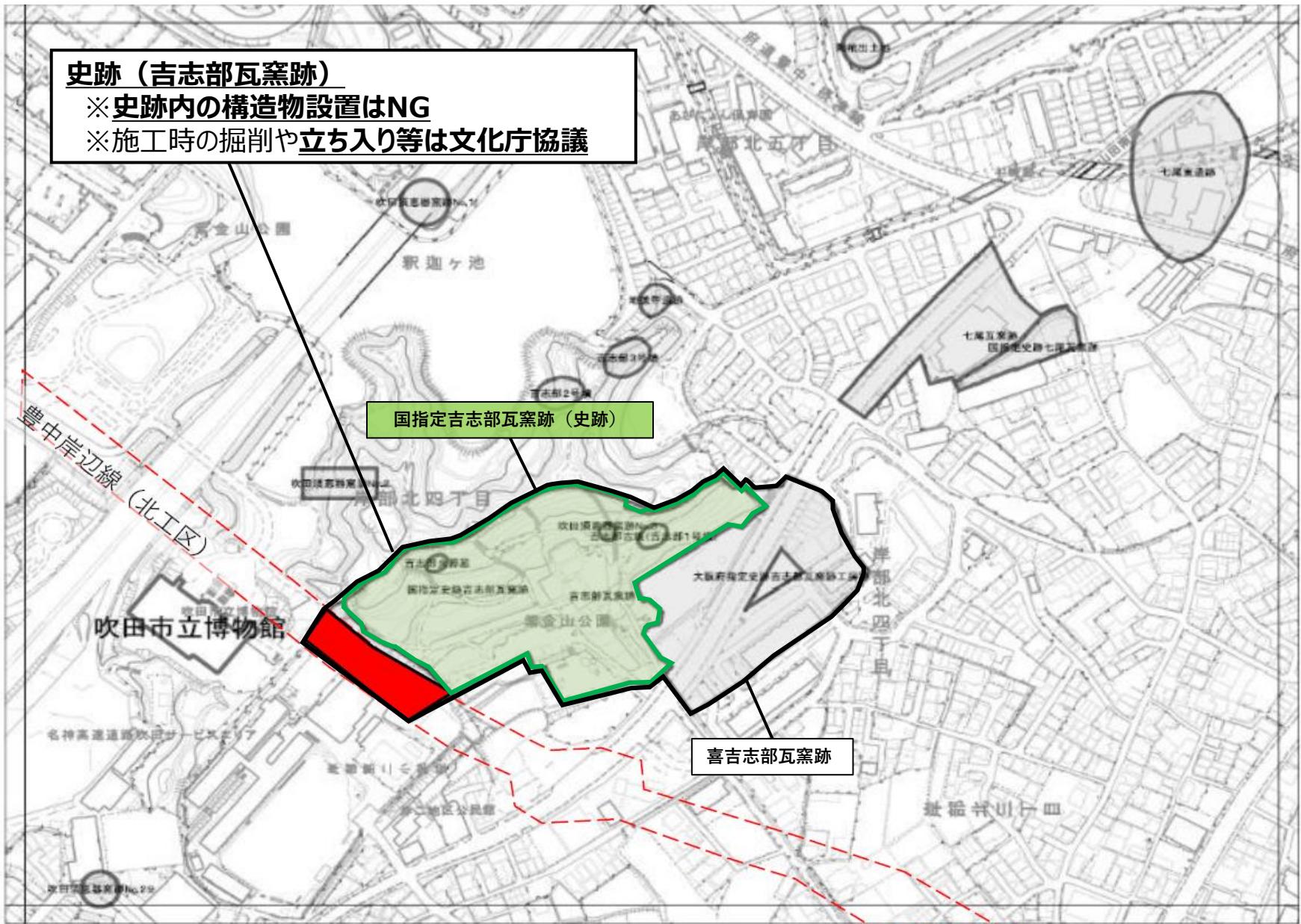
条件④国指定史跡への影響

R7.7.31時点

史跡（吉志部瓦窯跡）

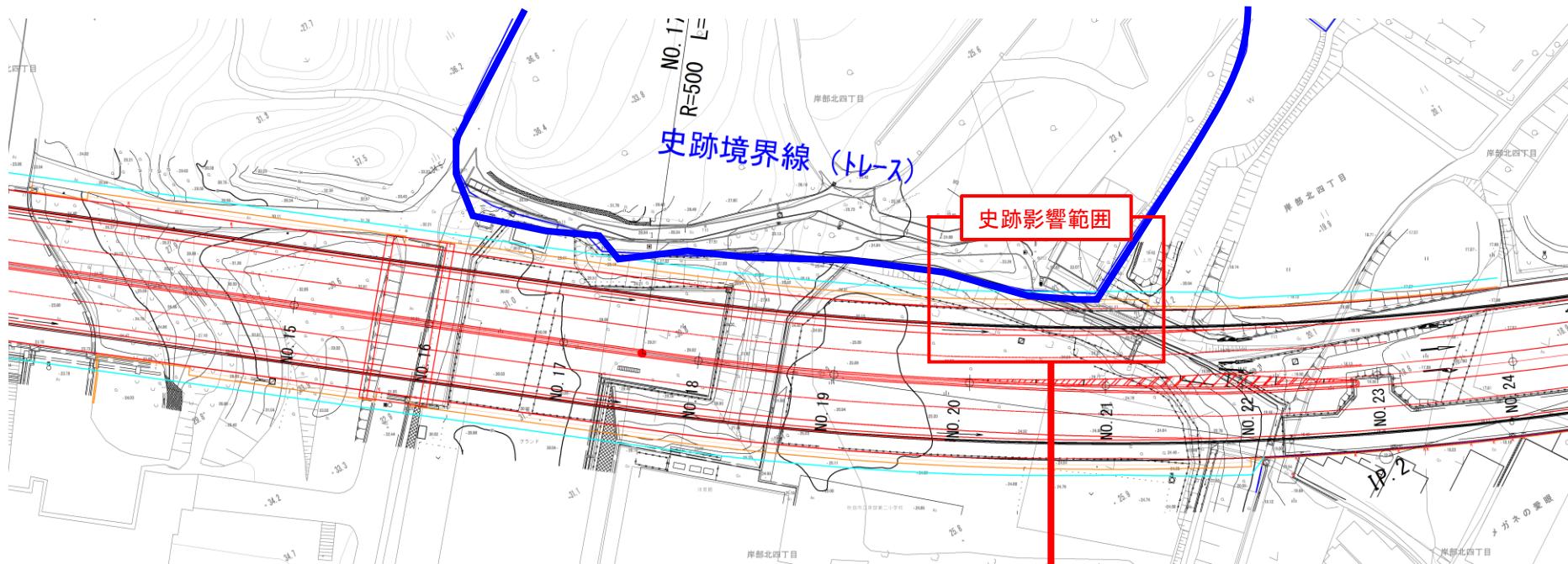
※史跡内の構造物設置はNG

※施工時の掘削や立ち入り等は文化庁協議

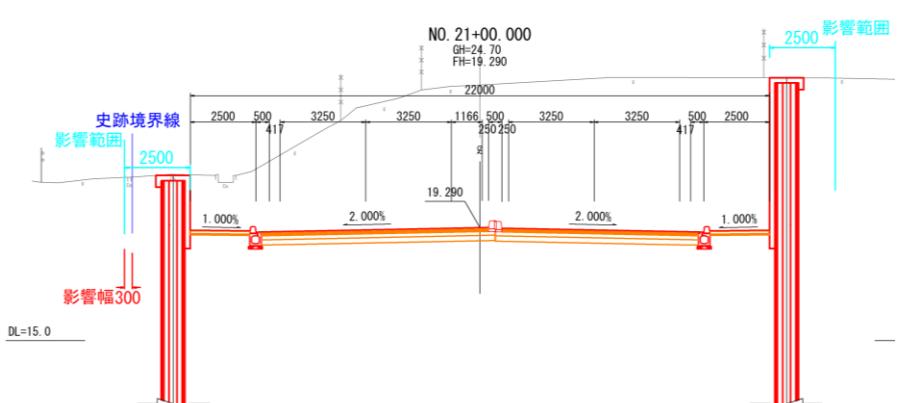


条件④国指定史跡への影響（史跡の保存）

R7.7.31時点

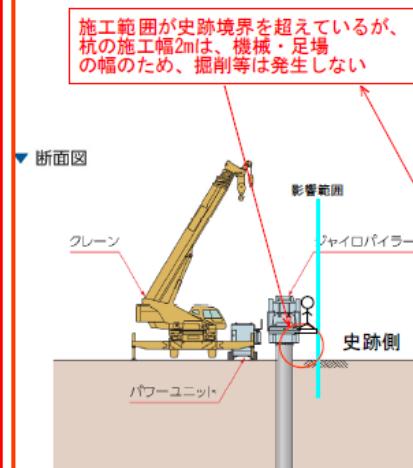


No.21 (史跡影響範囲)

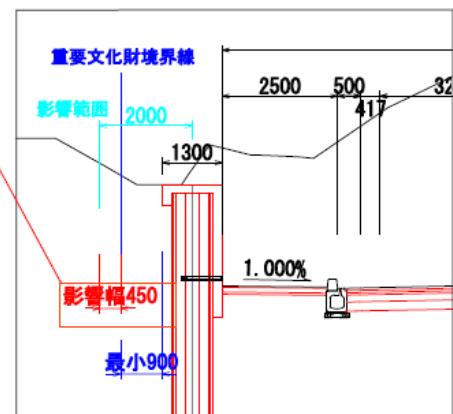


施工範囲が史跡境界を超えていて、杭の施工幅2mは、機械・足場の幅のため、掘削等は発生しない

断面図

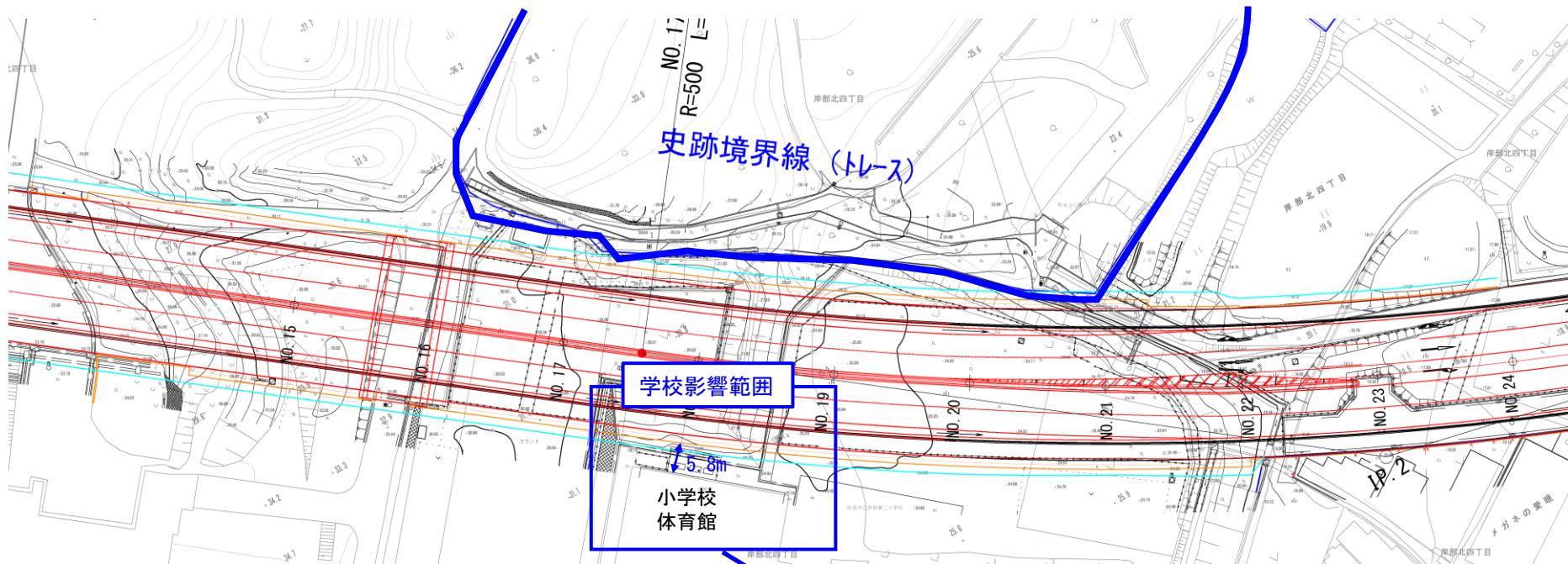


史跡影響区間

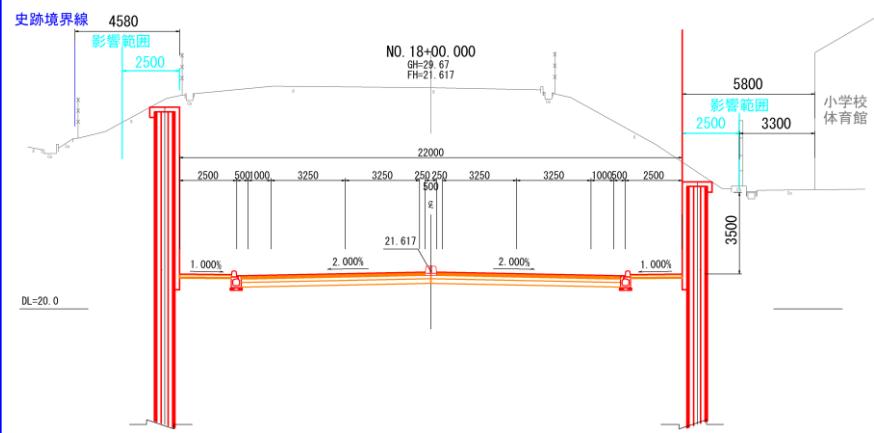


条件⑤岸部第二小学校への影響（教育環境の影響）

R7.7.31時点



№18 (擁壁と体育館の離隔)



■直壁構造のイメージ

R7.7.31時点



【現況】五月が丘消防署前の擁壁構造



小学校体育館裏の擁壁構造（イメージ）



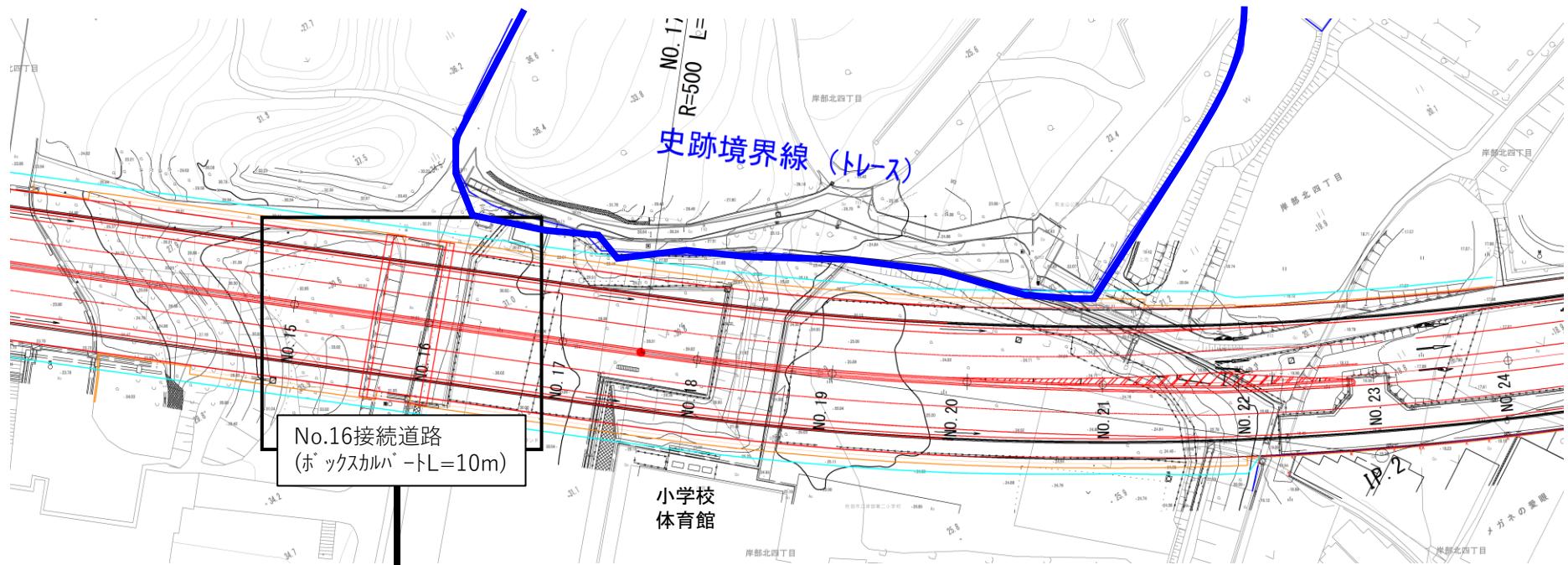
【現況】佐井寺中学校前の擁壁構造



両側擁壁構造のイメージ

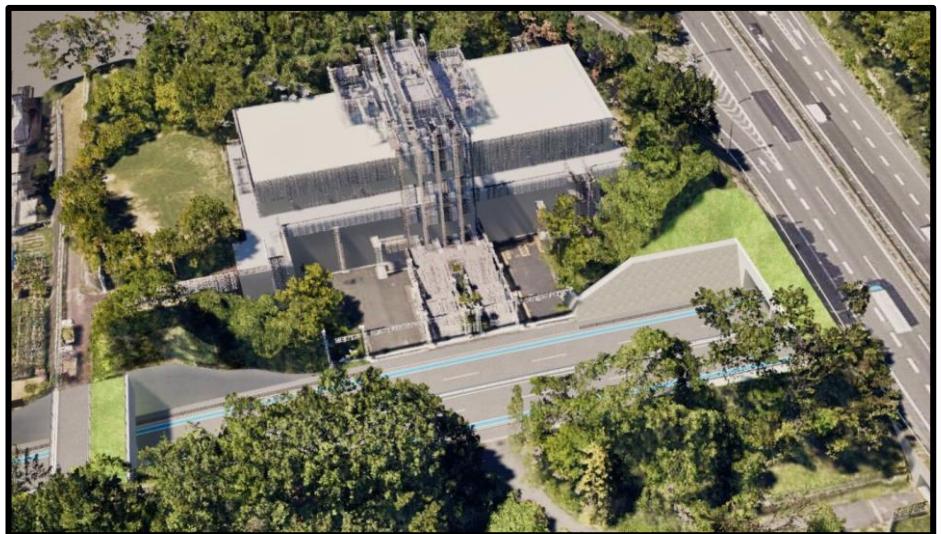
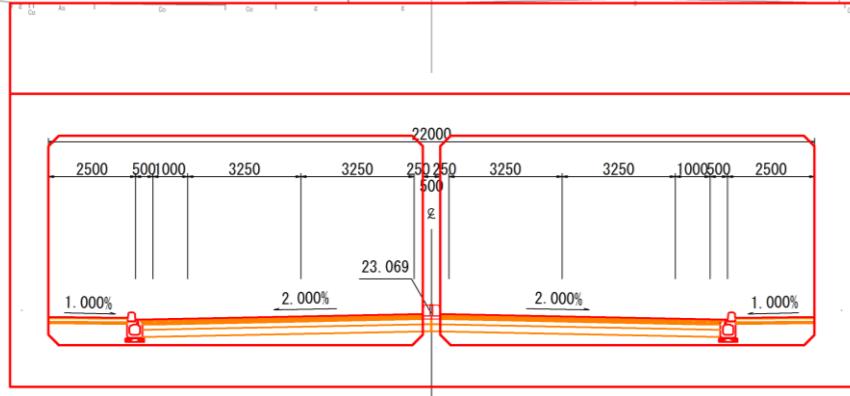
条件⑥公園接続道路の整備（自然環境への影響）

R7.7.31時点



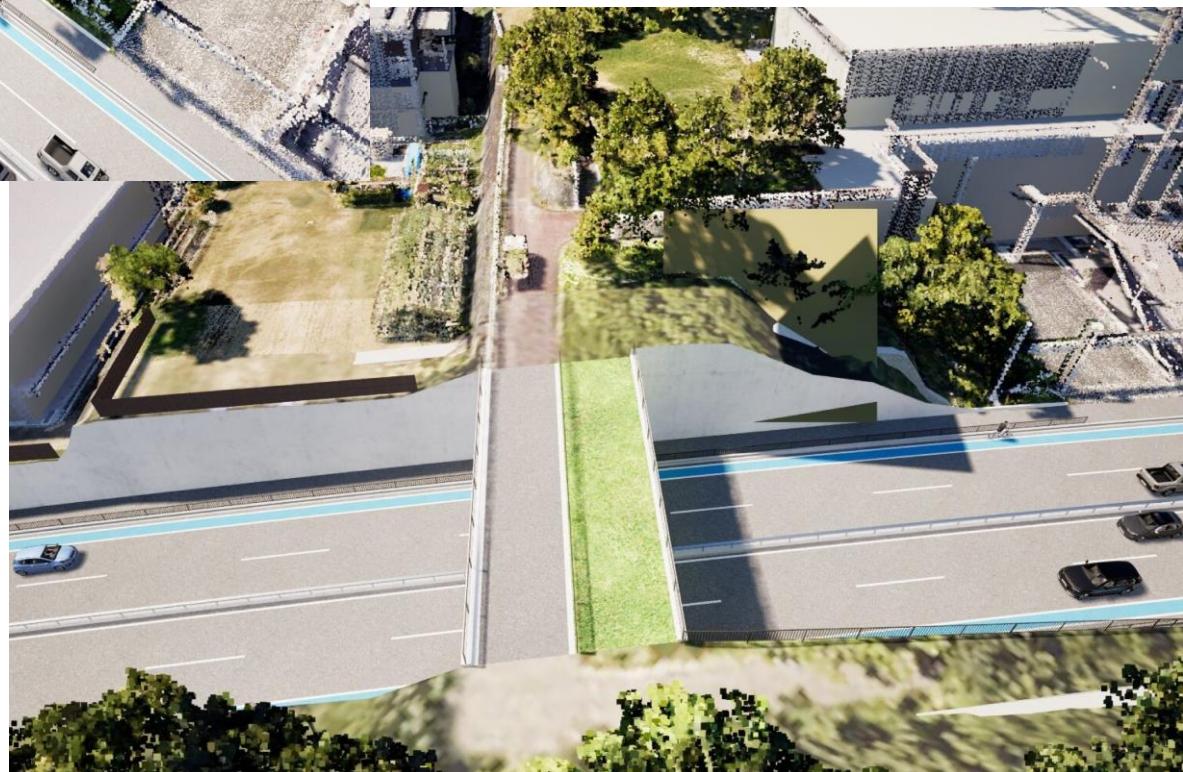
No.16 (接続道路BOX部)

NO. 16+00.000
GH=31.98
FH=23.069



条件⑥公園接続道路の整備（自然環境への影響）

R7.7.31時点



条件⑥道路及び住宅地との接道

R7.7.31時点

民地（戸建）との接道に影響がないよう、道路計画高を合わせる。また、市道岸辺北57号線との交差点高さは勾配のないよう設計する



道路縦断線形

R7.7.31時点

②名神高速アンダーパス部
土被り2.0m
ボックスカルバート構造



④吉志部瓦窯跡（史跡）
史跡への影響がない土留壁で施工可能

③博物館前の道路高さ
歩道から来場者 アクセス可能

⑤紫金山公園前交差点
現道交差点及び民地への接道可能



皆さんには、ご迷惑やご不便をおかけすると
思いますが、ご理解とご協力をよろしく
お願いいいたします。

本日はありがとうございました。



大阪府茨木土木事務所